

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-161702

(43)Date of publication of application : 18.06.1999

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 19/00

(21)Application number : 09-323525

(71)Applicant : HISAGO KK

(22)Date of filing : 25.11.1997

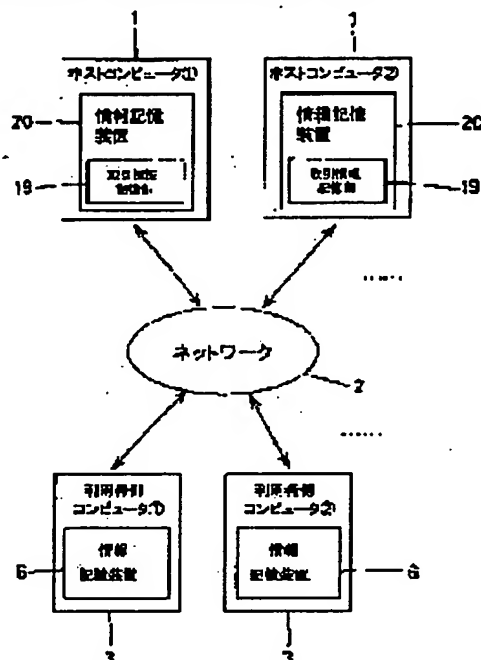
(72)Inventor : OGAWA HIRONOBU

(54) METHOD AND SYSTEM FOR COMMUNICATING TRANSACTION INFORMATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a method and system for communicating transaction information for always obtaining new information at the time of changing the transaction information.

SOLUTION: At a user's side, a user's side computer 3 is connected through a network 2 with a host computer 1, and host side transaction information is read from an information storing device 20 at a host side. The version of the transaction is compared with that of the user's side transaction information stored in an information storing device 6 at the user's side, and when they are different, the host transaction information is automatically received to the user's side, and stored in the information storing device 6 at the user's side as latest transaction information.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-161702

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月18日

(51) Int.Cl.⁹G 0 6 F 17/60
19/00

識別記号

F I

G 0 6 F 15/21
15/22

3 3 0

N

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平9-323525

(22) 出願日 平成9年(1997)11月25日

(71) 出願人 394004826

ヒサゴ株式会社

名古屋市東区葵三丁目14番12号

(72) 発明者 小川 博延

名古屋市東区葵三丁目14番12号 ヒサゴ株式会社内

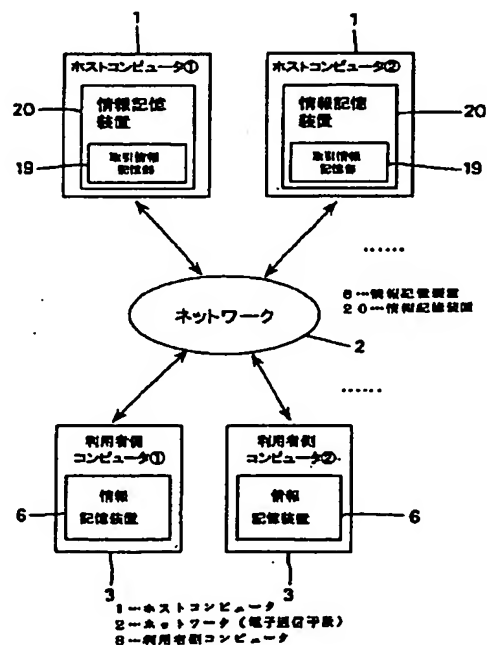
(74) 代理人 弁理士 後呂 和男 (外 1 名)

(54) 【発明の名称】 取引情報の通信方法、及び取引情報の通信システム等

(57) 【要約】

【課題】 取引情報の変更に際して、常に新しいものを入手できる取引情報の通信方法、及び取引情報の通信システム等を提供すること。

【解決手段】 利用者側において、利用者側コンピュータ3とホストコンピュータ1とをネットワーク2を介して接続し、ホスト側の情報記憶装置20からホスト側取引情報11を読み出す。この取引情報11と、利用者側の情報記憶装置6に記憶されている利用者側取引情報12とのバージョンを比較し、両者が異なっている場合には自動的にホスト側取引情報11を利用者側に受信し、最新の取引情報として利用者側の情報記憶装置6に記憶させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子通信により商取引を行うための取引情報の通信方法であって、ホストの取引情報が記憶されたホストコンピュータの記憶装置に利用者側コンピュータが電子通信により接続したときに、利用者側に記憶される取引情報と前記ホストの取引情報との内容と比較し、これら二つの取引情報が異なるときには前記ホスト側の記憶装置の取引情報を利用者側コンピュータに受信するための手続が取られることを特徴とする取引情報の通信方法。

【請求項2】 電子通信手段により商取引を行うための取引情報の通信システムであって、ホストコンピュータの記憶装置に記憶された取引情報に対し利用者側コンピュータが電子通信手段により接続するための接続手段と、利用者側の記憶装置に記憶された取引情報と前記ホスト側の取引情報との内容と比較する情報比較手段と、その情報比較手段により前記二つの取引情報が異なると判断されたときに前記ホストの取引情報を利用者側に受信するための情報受信手段とからなることを特徴とする取引情報の通信システム。

【請求項3】 電子通信により商取引を行うためにホストの申込書式に適合した取引書面を作成するための取引書面の作成方法であって、ホストの申込書式情報を含んだ取引情報が記憶された記憶装置に対し利用者が電子通信により接続し、利用者側にある取引情報と前記ホストの取引情報との内容と比較し、これら二つの取引情報が異なるときには前記ホストの記憶装置の取引情報を利用者側に受信するための手続が取られ、前記利用者側の記憶装置に記憶された複数の申込書式の中から前記ホストの申込書式に適合するものを選択し、その申込書式に書誌的事項を挿入することにより前記ホストの書式に適合した取引書面を作成することを特徴とする取引書面の作成方法。

【請求項4】 電子通信により商取引を行うためにホストの申込書式に適合した取引書面を作成するための取引書面の作成システムであって、ホストの取引情報が記憶された記憶装置に対し利用者側が電子通信手段により接続するための接続手段と、前記利用者側の記憶装置に記憶された取引情報と前記ホストの取引情報との内容と比較する情報比較手段と、前記情報比較手段により二つの取引情報が異なるときには前記ホストの取引情報を利用者側に受信するための情報受信手段と、利用者側の記憶装置に記憶された複数の申込書式の中から、前記ホストの申込書式に適合するものを選択する書式選択手段と、その申込書式に書誌的事項を挿入する取引書面作成手段とからなることを特徴とする取引書面の作成システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、取引情報の通信方法、及び取引情報の通信システム等に関する。

【0002】

【従来の技術】近年のコンピュータの発達と電子通信網の整備とによって、コンピュータによる取引形態が進歩しつつある。このような取引形態においては、商品の買手である利用者側は予め取引情報を電子ファイルとして電子的な記憶手段に記憶させておき、売手であるホストはその取引情報に基づいて取引を進める場合が多い。

10 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、利用者側がホストから取引情報を一旦入手してしまうと、利用者側はその取引情報をそのまま使用し続けることが予測される。このため、ホストが取引情報を変更した場合にも、利用者側はこれに気付かないで、そのまま旧形態の取引情報で取引を進めてしまうことになる。すると、例えば、納入最低個数や納入時期等に対する認識が売手及び買手側で異なり、取引秩序が混乱してしまうことも考えられる。

20 【0004】本発明は、上記事情に鑑みてなされたもので、その目的は、取引情報の変更の際に、常に新しいものを入手できる取引情報の通信方法、及び取引情報の通信システム等を提供するところにある。

【0005】

25 【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するための請求項1の発明に係る取引情報の通信方法は、ホストの取引情報が記憶されたホストコンピュータの記憶装置に利用者側コンピュータが電子通信により接続したときに、利用者側に記憶される取引情報と前記ホストの取引情報との内容と比較し、これら二つの取引情報が異なるときには前記ホスト側の記憶装置の取引情報を利用者側コンピュータに受信するための手続が取られることを特徴とする。

35 【0006】請求項2の発明に係る取引情報の通信システムは、ホストコンピュータの記憶装置に記憶された取引情報に対し利用者側コンピュータが電子通信手段により接続するための接続手段と、利用者側の記憶装置に記憶された取引情報と前記ホスト側の取引情報との内容と比較する情報比較手段と、その情報比較手段により前記二つの取引情報が異なると判断されたときに前記ホストの取引情報を利用者側に受信するための情報受信手段とからなることを特徴とする。

40 【0007】請求項3の発明に係る取引書面の作成方法は、電子通信により商取引を行うためにホストの申込書式に適合した取引書面を作成するためのものであって、ホストの申込書式情報を含んだ取引情報が記憶された記憶装置に対し利用者が電子通信により接続し、前記利用者側にある取引情報と前記ホストの取引情報との内容と比較し、これら二つの取引情報が異なるときには前記
50 ホストの記憶装置の取引情報を利用者側に受信するため

の手続が取られ、前記利用者側の記憶装置に記憶された複数の申込書式の中から前記ホストの申込書式に適合するものを選択し、その申込書式に書誌的事項を挿入することにより前記ホストの書式に適合した取引書面を作成することを特徴とする。

【0008】請求項4の発明に係る取引書面の作成システムは、電子通信により商取引を行うためにホストの申込書式に適合した取引書面を作成するためのものであって、ホストの取引情報が記憶された記憶装置に対し利用者が電子通信手段により接続するための接続手段と、前記利用者側の記憶装置に記憶された取引情報と前記ホストの取引情報との内容と比較する情報比較手段と、前記情報比較手段により二つの取引情報が異なるときには前記ホストの取引情報を利用者側に受信するための情報受信手段と、利用者側の記憶装置に記憶された複数の申込書式の中から、前記ホストの申込書式に適合するものを選択する書式選択手段と、その申込書式に書誌的事項を挿入する取引書面作成手段とからなることを特徴とする。

【0009】

【発明の作用および効果】請求項1または2の発明によれば、利用者側が電子通信によりホストの取引情報が記憶された記憶装置に接続すると、利用者側及びホスト双方に記憶された取引情報を比較し、これらが異なるときにはホストの取引情報を利用者側に受信する手続きが行われる。このため、常に最新の取引情報に基づいて取引を進められるため、ホストと利用者側との間で取引要綱に認識のずれが発生することがなく、取引が円滑に行われる。

【0010】また、請求項3または4の発明によれば、ホストの取引情報に従って、利用者側の記憶装置にある申込書式の中から適合するものを選択し、その申込書式に書誌的事項を挿入して取引書面が作成される。このため、この取引書面を使用することにより、取引が円滑に進められる。

【0011】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施形態について図1～図10を参照しつつ説明する。

【0012】図1は、商品の売手側であるホストと、買手側である利用者との間で電子通信を行うためのシステムを示すものである。このシステムは電子通信を使用して商品の売買情報を交換するために使用される。

【0013】ホスト及び利用者の双方には、それぞれホストコンピュータ1及び利用者側コンピュータ3が備えられている。両コンピュータ1、3同士は、情報伝達を可能とする電子通信手段である例えば、公衆電話回線を使用したネットワーク2を介して接続される。ホストコンピュータ1には、情報記憶装置20が備えられており、ここにはホスト側取引情報11を記憶する取引情報記憶部19がある。

【0014】図2には、利用者側コンピュータ3の構成を示した。利用者側コンピュータ3には、制御を行うための制御部5、各種の演算を行うための演算部10、制御部5とネットワーク2とを接続するためのI/Oインタフェース9及び通信回線接続装置4（例えばモデム、ターミナルアダプタ等）、情報表示用のディスプレイ（CRT）8、情報記憶装置6が接続されている。

【0015】制御部5には、申込書式13を選択するための書式選択ソフトウェアや取引書面作成ソフトウェア等の走行を制御するソフトウェア走行制御部5Aが備えられる。

【0016】また、演算部10においては、制御部5からの命令に従った演算を行う。この演算部10にはホスト及び利用者側の取引情報11、12を比較する情報比較部10Aがある。

【0017】情報記憶装置6は、例えばハードディスクであり、その記憶領域には、システムプログラムやアプリケーションソフトウェア等が記憶されるソフトウェア記憶部6A、利用者側取引情報12が記憶される取引情報記憶部6B、申込書式13が記憶される申込書式記憶部15、取引書面14が記憶される取引書面記憶部16、及び利用者側氏名・住所・電話番号・決済方式等の書誌的事項が記憶される書誌的事項記憶部17等がある。また、ある特定の会社の情報を記憶したホストコンピュータ1に通信するための通信用アドレス18（電話番号または、インターネットの通信アドレス等）が記憶されたアドレス記憶部21も備えられる。なお、申込書式記憶部15については、予め多数の申込書式13を記憶させたCD-ROMを利用することもできる。

【0018】このうち、取引情報記憶部6Bに記憶される利用者側取引情報12の構成を図3（A）に示した。利用者側取引情報12には、その情報のバージョンを示すバージョン情報12Aと、各種取り決めに記載される取引要綱12B、及びホストがその使用を要望する申込書式13を特定するための申込書式特定番号7が含まれる。このうち、取引要綱12Bには、売買される商品の納品条件（最低個数、納期、代金振り込み場所・時期等）が記載されている。また、図3（B）には、ホストコンピュータ1の情報記憶装置20に記憶されているホスト側取引情報11の構成を示した。互いのバージョン情報11A、12Aは、その取引情報11、12が作成された時期を示すものであり、これらのバージョン情報11A、11A同士を比較することにより、利用者側取引情報12が最新のものであるかどうか判定できる。

【0019】次に、図4には申込書式記憶部15の構成について示した。申込書式記憶部15は、申込書式13を特定するための書式特定番号記憶部15Aと、書式形態が記憶されている書式形態記憶部15Bとを備えている。書式特定番号記憶部15Aには、ある申込書式特定番号7に対応する申込書式13が、書式形態記憶部15

Bの何処に記憶されているかを示す情報とともに記憶されている。つまり、ある申込書式特定番号7が書式特定番号記憶部15Aの中から選択されると、その情報に基づき、書類形態記憶部15Bの中から特定の申込書式13が選択される。図5には、アドレス記憶部21の構成について示した。このアドレス記憶部21には、ホスト側の会社等の名称が記憶されている名称記憶部21Aと、ホスト側の情報が記憶されているホストコンピュータ1に接続するための通信用アドレス18が記憶されているアドレス部21Bとが備えられている。名称記憶部21Aには、ある会社等の名称と対応するアドレス部21Bの位置を決めるための情報が記憶されている。このため、名称記憶部21Aの中からある会社等が選択されると、アドレス部21Bの中から通信用アドレス18が選択される。なお、この名称記憶部21Aに記憶されている会社等の名称は、次述する取引書面14のホスト社名Aと関連づけられている。

【0020】図6には、申込書式特定番号7によって特定される申込書式13の構成を一例を示した。この申込書式13の所定の欄にホスト社名A、利用者側氏名B、住所C、電話番号D、決済方式Eのような書誌的事項が挿入されると取引書面14が作成される。

【0021】図7には、取引書面14を示した。この取引書面14は、利用者側コンピュータ3の取引書面記憶部16に記憶される。

【0022】図8は利用者側コンピュータ3をホストコンピュータ1に接続し、互いの取引情報11、12を確認するときの手順を示す流れ図である。

【0023】利用者側コンピュータ3上で取引情報比較ソフトウェアを実行させ、ネット和ワーク2を通じてホストコンピュータ1に接続する(S11)。なお、このときアドレス記憶部21に通信用アドレス18が記憶されていれば、その通信用アドレス18を利用して、コンピュータ同士1、3が接続される。また、初回通信時や通信用アドレス18が変更されたときのように、必要とされる通信用アドレス18が記憶されていない場合には、アドレスを手入力する。次に、ホストコンピュータ1の取引情報記憶部19に記憶されるホスト側取引情報11を検索し、その中のバージョン情報11Aを入手する(S12)。そして、このバージョン情報11Aと利用者側取引情報12のバージョン情報12Aとを比較する(S13)。

【0024】その判断を行った(S14)結果、互いのバージョン情報11A、12Aが異なる場合には、ホスト側取引情報11が利用者側コンピュータ3に受信される(S15)、情報記憶装置6の申込書式記憶部15に利用者側取引情報12として記憶され(S16)、取引情報比較ソフトウェアは終了する。一方、互いのバージョン情報11A、12Aが同一のものである場合には、取引情報比較ソフトウェアは終了する。

【0025】次に、図9の流れ図により、利用者側コンピュータ3において、取引書面14を作成するまでの手順について説明する。

【0026】利用者側コンピュータ3上で取引書面作成ソフトウェアを実行し、利用者側取引情報12の中から申込書式特定番号7を取り出す(S21)。次に、この申込書式特定番号7に基づいて、申込書式記憶部15を検索し、書式特定番号記憶部15Aと書類形態記憶部15Bとから申込書式13を抽出する(S22)。次に、書誌的事項記憶部17から利用者側の書誌的事項を読み出し(S23)て、申込書式13の所定のところに適切な事項を挿入し、取引書面14を作成する(S24)。こうして作成された取引書面14は、情報記憶装置6の取引書面記憶部16に記憶される(S25)。さらに、その取引書面14中のホスト社名Aと関連付けがされた通信用アドレス18が、アドレス記憶部21に記憶される(S26)。

【0027】次に、こうして特定のホストの取引情報11に適合させた取引書面14を使用して、商品を購入するときの流れについて、図10を参照しつつ説明する。

【0028】利用者側コンピュータ3上で商品申込ソフトウェアを実行し、取引書面14に必要な事項(商品名、数量等)を挿入する(S31)。次に、利用者側コンピュータ3とホストコンピュータ1とをネットワーク2を介して接続させる(S32)。

【0029】ここで、互いの取引情報11、12の比較操作を行う。つまり、利用者側において、作成したばかりの取引書面14を使用する場合には問題とはなり難いが、ホストが取引情報11を変えたり、利用者側が作成してしばらく時間が経過した取引書面14を使用する場合には取引情報11のバージョンが異なっていることも考えられるからである。

【0030】ホストコンピュータ1のホスト側取引情報11を検索し、その中のバージョン情報11Aを入手する(S33)。次に、このバージョン情報11Aと利用者側取引情報12のバージョン情報12Aとを比較する(S34)。その判断の結果(S35)、互いのバージョン情報11A、12Aが同一の場合には、商品名等を挿入した取引書面14をホストコンピュータ1に送信して(S36)、ソフトウェアを終了する。一方、互いのバージョン情報11A、12Aが異なる場合には、ホスト側取引情報11が利用者側コンピュータ3に受信される(S37)、情報記憶装置6の申込書式記憶部15に利用者側取引情報12として記憶されて(S38)、ソフトウェアは終了する。

【0031】このように、本実施形態によれば、利用者側が電子通信によりホストの取引情報が記憶された記憶装置に接続すると、利用者側及びホスト双方に記憶された取引情報を比較し、これらが異なるときにはホストの取引情報を利用者側に受信する手続きが行われる。この

ため、常に最新の取引情報に基づいて取引を進められるため、ホストと利用者側との間で取引要綱に認識のずれが発生することがなく、取引が円滑に行われる。

【0032】また、ホストの取引情報に従って、利用者側の記憶装置にある申込書式の中から適合するものを選択し、その申込書式に書誌的事項を挿入して取引書面が作成される。このため、この取引書面を使用することにより、取引が円滑に進められる。

【0033】本発明は前記実施形態に限定されるものではなく、例えば次に記載するようなものも本発明の技術的範囲に含まれる。ホストと利用者側との取引情報の比較は、バージョン情報のみでなく、ファイルの日付や、ファイルの大きさ等により行ってもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本実施形態のシステムの概要を示す図

【図2】 コンピュータの概要を示す図

【図3】 (A) 利用者側取引情報の構成を示す図 (B) ホスト側取引情報の構成を示す図

【図4】 申込書式記憶部の構成を示す図

【図5】 アドレス記憶部の構成を示す図

【図6】 申込書式を示す図

【図7】 申込書式に書誌的事項が組み込まれた取引書面を示す図

【図8】 ホストコンピュータに接続してホストと利用者側との取引情報の相違を確認するときの手順を示す流れ図

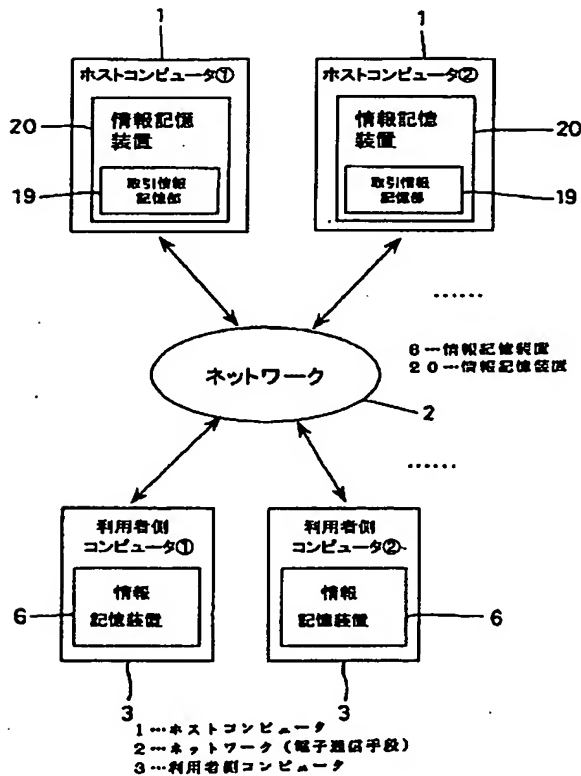
【図9】 利用者側においてホストに適合する申込書式が選択されて書誌的事項を組み込んだ取引書面が作成されるときの手順を示す流れ図

【図10】 取引書面に必要な事項を記入して、ホストに送信するときの手順を示す流れ図

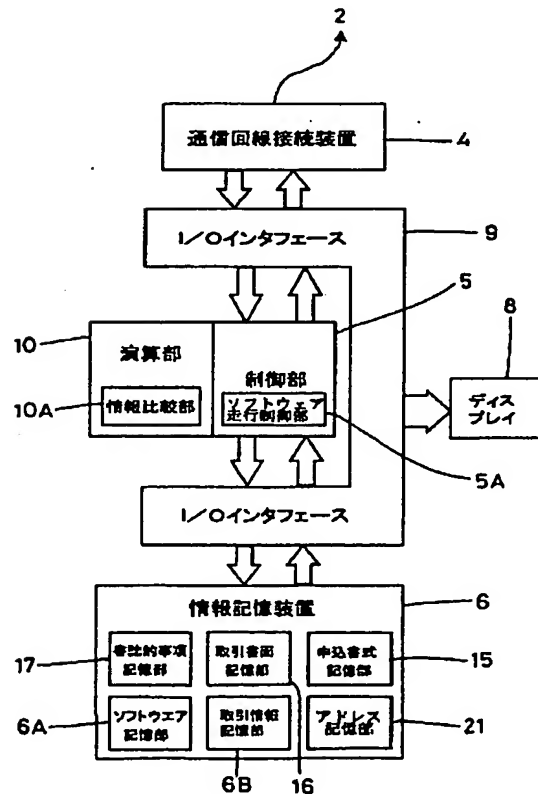
【符号の説明】

- 1…ホストコンピュータ
- 2…ネットワーク（電子通信手段）
- 3…利用者側コンピュータ
- 4…通信回線接続装置（接続手段）
- 6…情報記憶装置
- 11…ホスト側取引情報
- 12…利用者側取引情報
- 13…申込書式
- 14…取引書面
- 20…情報記憶装置

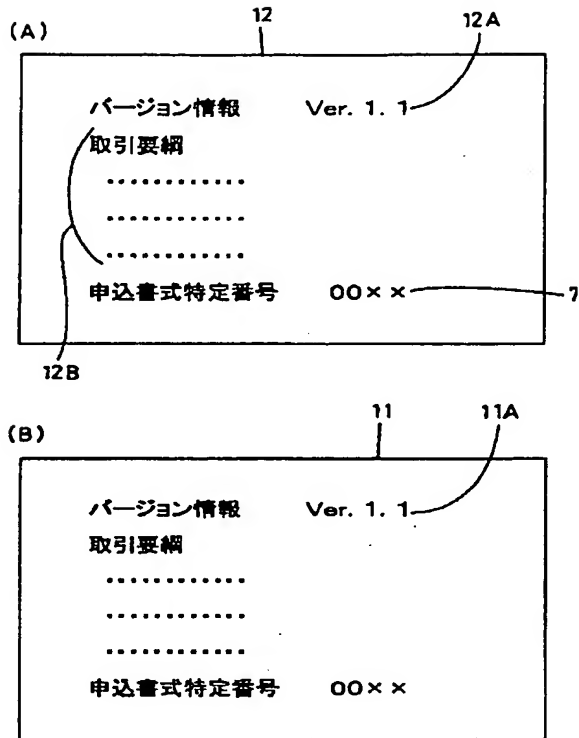
【図1】



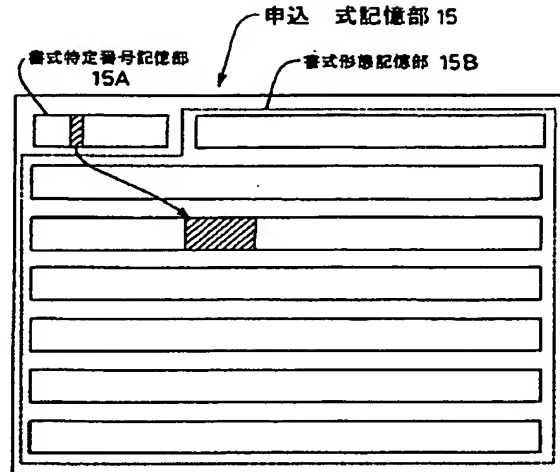
【図2】



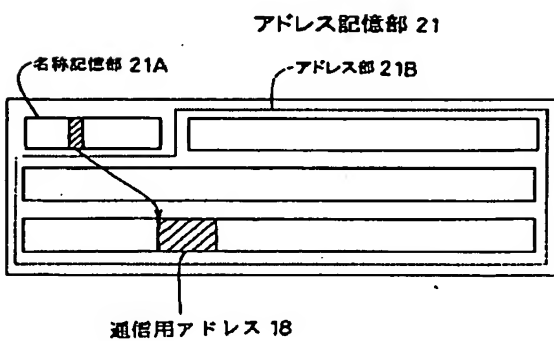
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

13

商品申込書 _____ No. _____

氏名 _____ I.D. _____

住所 _____ TEL _____

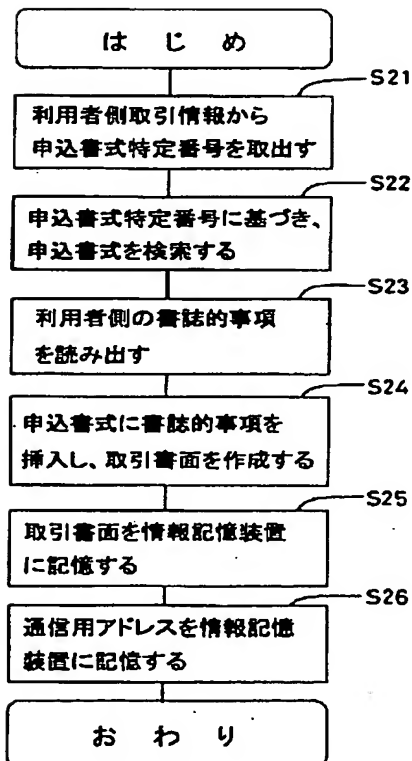
商品名	数量
1 _____	_____
2 _____	_____
3 _____	_____
4 _____	_____
5 _____	_____

決済方式 _____

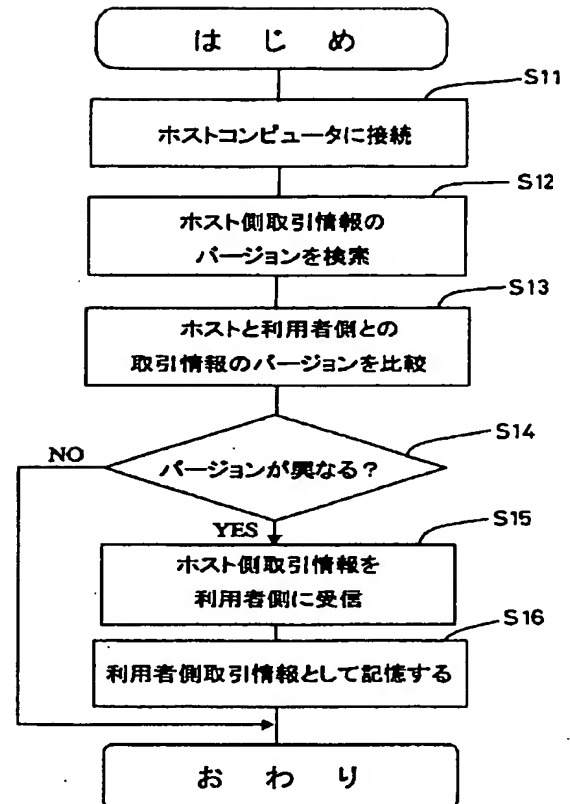
【図7】

C	B	A	14	D
商品申込書		×××社御中		No. _____
氏名 電子太郎		I.D. _____		
住所 名古屋市東区		TEL 052-XXX-XXXX		
商 品 名		数 量		
1	_____		_____	
2	_____		_____	
3	_____		_____	
4	_____		_____	
5	_____		_____	
決済方式 現金				

【図9】



【図8】



【図10】

